

お客様各位

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り、まことに有難く厚く御礼申し上げます。

本年も、より一層のご支援を賜りますよう、所長職員一同誠心誠意で努めてまいります。

※このメールに返信すると連絡がとれますので、御用の際は、お気軽にお申し付けください。



須黒会計インフォメーション

平成23年1月号



I | N | D | E | X |

- 1. 【経営情報】 [経営に役立つ財務分析～貸借対照表について～](#)
- 2. 【会計税務】 [年金二重課税問題、税務上の取扱いの変更](#)
- 3. 【ヒント・ヒント】 [現場の声](#)
- 4. 【税務メモ】 [1月の税務メモ](#)
- 5. 【お役立ち情報】 [経営体力診断のご提案](#)



- 1. 【経営情報】 [経営に役立つ財務分析～貸借対照表について～](#)



「貸借対照表について」

貸借対照表（バランスシート・B/S）

資産	負債
	純資産

上記の図が一般的な貸借対照表です。「資産」「負債」「純資産」の3つから成り立っています。
貸借対照表といえば簡単に言いますと、会社のその時点の状態を表しています。
状態を表すのですから、人の体で言うと健康診断での良し悪しを表しているのと同じだと思っていただ
いてよいと思います。

それでは、一体どういう状態が良いでしょうか。

資産というと現金や在庫そして土地などがイメージされると思いますが、誰もが資産を多く持って
いて借金が少なければ良いと思うはずで

実際その通りですよ。

これが貸借対照表で見るということになるとどうでしょうか。

それが良い状態なのか悪い状態なのかがわからなくなってしまうという方がいらっしゃいます。

でも、貸借対照表の良い状態とは健康状態が良い状態。

ですから、今まで貸借対照表が苦手だと思われる方も、簡単に考えてみてください。

貸借対照表から会社を良くしていくための方法が見つかるのですから。

ここで1つ質問です。

資産が多くて借金が少ない状態が良い。

これは決して間違いではありません。

では資産が多く一度も使用していないものがあつたらどうでしょう。

最近耳にするメタボリックを想像してみてください。

メタボリックが多いということは無駄な贅肉が多いということ。

この贅肉を落とすと体はスリムになります。

スリムになるということは健康な状態ですから、これが会社にも共通するのです。

資産が多いだけでも駄目なのですから、その状態も貸借対照表の数字を使えば判明するのですね。

多くの会社では銀行や他人からの「借金」があると思います。

これは始めから会社のお金ではないのでこちらは「他人資本」ともいわれますが、これが「負債」とな
ります。

それから会社を始める時に、運転資金として株主より「資本金」が投入されています。

これは初めから会社のお金となるので「自己資本」ともいわれ、「純資産」となります。

それではこの二つの違いは何か。

まず、「借金」はというと必ず返済しなければなりません。

そして「資本金」の方は返済する必要がありません。

ですから、先程の上図の右側の「負債」と「純資産」といわれる部分の違いが、この性格の違いとい
うことなのです。

